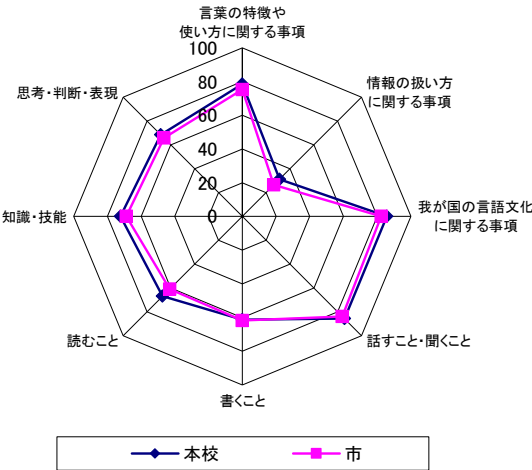


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	78.5	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	31.2	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	85.7	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	85.7	83.9	84.2
	書くこと	61.3	61.7	64.5
	読むこと	66.9	60.9	61.0
観点別	知識・技能	72.3	68.8	70.3
	思考・判断・表現	68.4	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均よりやや高い。 ○漢字の読みや三字の熟語についての設問の正答率は9割を超えている。 ●書きや言葉についての正答率は、市よりも高い正答率となっているが、問題によって若干ばらつきがある。敬語の使い方についての設問では、正答率が5割程度であった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・繰り返し漢字の練習を行うとともに、熟語の意味調べや学習した漢字を使った短文づくりなど、実際に活用する機会を増やすことで、知識の定着を図っていく。 ・日常生活において相手や場面に応じた言葉遣いができるよう、敬語に関する継続的な指導に努めていく。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は市の平均よりは高いが、2問とも5割に届かなかった。無回答の割合が他の領域と比べて高い。 ●文章中の言葉を使って内容を短文にまとめる設問では、各段落の内容を整理して理解し、問題に合った言葉を抜き出すことが難しかったようだ。 ●資料をもとに、文章をまとめる設問では、情報を整理しまとめる力に個人差が見られた。	・自分の考えとなる根拠や事例を挙げ、読み手を納得させるような文章構成を考え、他教科でも書く活動を取り入れていく。 ・自分の考えを書く時には、適切な言葉を選んで文を構成することができるよう、振り返りの時間を活用して日常的に授業に取り入れるなど、横断的に指導していく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は市の平均よりも高い。 ○和語、漢語、外来語の組合せについての設問では、市の平均より3.3ポイント上回った。	・語源を調べたり、単語を和語、漢語、外来語に区別したりするなど、ドリルを活用しながら言語に触れる機会を日常的に授業に設定していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は市の平均を上回っている。 ○話の内容を捉える設問では、市の平均を7.1ポイント上回った。 ●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、短い文で表す設問では、市の平均を4.9ポイント下回った。	・インタビュー活動では、目的や話題に応じて聞くことを整理できるよう指導していく。 ・日頃の授業や様々な活動の中で、話を聞いたことについて内容を整理し、友達に伝える活動を工夫して取り入れていく。
書くこと	平均正答率は市の平均とほぼ同程度である。 ○自分の意見とその理由を明確に書く設問では、正答率が80%を越えている。 ●予想される反論とそれに対する意見を書く設問では、自分の考えを具体的に書いていなかったり、書き終わらない・無回答だったりする割合も高かった。	・国語の書くことの学習だけでなく、他教科のまとめなどの機会を生かし、自分の考えを具体的に書くことができるよう指導していく。 ・意見文を書くスキルを身に付けさせるために、自分の考えを具体的に書くだけでなく、予想した反論についての考えを書いたり、また、文字数を意識して文章を書いたりする機会を積極的に設けていく。
読むこと	平均正答率は市の平均を上回っている。 ○物語の内容を読み取る問題では、登場人物の心情や様子について描写をもとに捉えることができていた。 ●説明文の読み取りでは、文章全体の構成や叙述を基に文章の内容を捉えることはできているが、情報と情報の関係性を理解したり文章の情報を整理することについて問う設問の正答率が低かった。	・読書活動を推進・充実させることで、読む楽しさを味わわせると共に、文章読解力を身に付けていく。 ・接続詞や文末表現から話の前後の関係を整理したり、登場人物の相互関係などを心情描写などの叙述を基に捉えたりする活動を丁寧に行うことで、読みを深められるようにしていく。 ・授業の中で音読や範読を重点的に取り入れ、一言一言丁寧に、意味を考えながら読むことを習慣付けられるようにしていく。